

myself

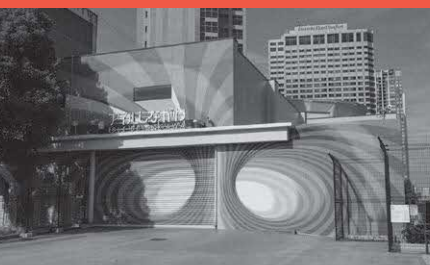
自 分 ら し く

いつでも、どこでも、
誰でも働ける
会社づくり

特集

— バイアスのない
人材活用と新しい働き方

INTERVIEW コグニティ株式会社 代表取締役 河野理愛さん



ちょっといい所 素敵なところ

Vol.22

アイルしながわ

令和4年10月、天王洲アイルの運河沿いに位置する東品川清掃作業所の跡地にパラスポーツやアート活動の場としてオープン。毎月イベントなども開催されています。ちょっと足を運んでみてはいかがですか？



いつでも、どこでも、誰でも働ける会社づくり — バイアスのない人材活用と新しい働き方 …… P2~5
男女共同参画センターからのお知らせ …………… P6~8

いつでも、どこでも、 誰でも働ける会社づくり

特集

—バイアスのない人材活用と新しい働き方

今回は2013年の創業時からテレワークによる独自の勤務体制と幅広い人材活用により
女性活躍の場を広げてきた、コグニティ株式会社 代表取締役の河野理愛さんにお話を伺いました。

現在の会社を設立したきっかけを教えてください。

2013年に立ち上げ、10年ぐらいになる会社です。その前の8年間ぐらいはサラリーマンをしていて2社で働いています。10代の時に1度会社を立ち上げていますが、今の会社もそれがきっかけでした。その頃はインターネットが日本に普及した時代だったので、インターネットのおかげで年齢も性別も場所も関係なくチャンスを得ることができ、これがなければ起業できていなかったという思いがあります。その一方で新しい技術が入りチャンスも得たけれども、昔から残っている思いこみで判断されてしまうこともあると感じていました。

1度目の起業を経て大学卒業を機に働いたのがソニーです。自分で仕事をするのとは違って、色々なものが既に出来上がっていますし、世界的な仕事もたくさんあって、その中ですごく知見が広がりましたが、20代最後の時期に、海外で売り上げが伸ばせる事業に関わりたいと思い、転職を決めました。転職して感じたことですが、勢いのある若い会社の考え方と60年70年と長くやってきた会社の考え方は違うのだということでした。自分がやりたいことは世の中に意義があるものでソニーで学んだことを使いたいと思っているのだから、このままでは違うと感じました。長く続く社会に対して貢献できるような会社とはなんだろうと考えた時に、次は1度目の起業で足りなかったものを実現しようと考え、色々

なことを試してみた結果、2度目の起業を決めました。テクノロジーを使って新しいチャンスを得たのに、逆に人間の思い込みのおかげでチャンスを失ってしまうということをたくさん見てきたので、テクノロジーで、人間の視野を広げるような仕事をしたいということがこの会社のテーマになっています。

interview

コグニティ株式会社
代表取締役

河野理愛さん



女性が起業することへの周囲の反応や印象的なエピソードがあれば教えてください。

今は女性起業家がたくさんいますし、支援プログラムも増え、応援してくれる人たちも多くなっていると思いますが、今の会社を立ち上げた2013年はまだまだその始まりで、人数も少しずつ増えている傾向ではありましたが、いわゆる偏見もあったと思います。典型的なのは、会社を作る時はお金を借りたりするわけですが、女性が作る会社で成功率が高い事業は、飲食とアパレルであると言われ、ITを飲食とかに絡めてくれたら成功率が高いので、そういうふうに変えないの？と言われてたり、サラリーマン人生でエンジニアではなかったのに、IT事業をやることは成功率が高いと思えないから、経験した職で起業したらどうか、とも言われました。新しいことをやる時は色々なハードルも出てきますが、こういうレッテルを貼られることは、女性がというよりも未経験か経験があるかとかそういったものも判断されることが結構あって、逆に言うとリスクを取らないために皆がそのように見ているのが現実だと感じました。

会社の理念でもある「認知バイアスのない社会」をめざしたサービスとはどのようなものですか。

人間が考えていることや、コミュニケーションなどはすごくわかりにくくて、聞く側も話す側も色々と問題を抱えている分野だと思っています。営業トークにおいても本当に伝わるトークと比べて自分のトークは何が欠けていて何が偏っているのか、自分の好みのことばかり考えて、本当はもっと別の案があるはずなのに見つけられないなど、自分が見えて

いない視点を私たちは技術の力でサポートしたいと考えています。色々なコミュニケーションの抜け漏れを見つけて改善に役立てる、いわゆる、自分ひとりでは、見抜けないし、人によって言うことが違うような内容を客観的に評価できることによって、バイアスを取り除き、自分を良くしていくためのサービスとしてやっています。



オフィスを置く区立西大井創業支援センターでのインタビュー

創業時からテレワークを推進されていますが、従業員の働き方などを教えてください。

2013年からなので、テレワークという言葉があまりなかった頃から家で働くことを前提として会社を作ってきました。働いている従業員の九割が女性で、ほとんどが主婦の方でお子さんがいるか、介護で家に居なくてはいけない方、もしくは持病があって外では働けないという方も多いです。特徴的なのは家で働けるということだけでなく、細切れに仕事ができることです。決められた時間の中でどう休憩を入れてもいいけれど、一週間もしくは月の合計の時間として何時間働けばあなたの労働時間となりますよというやり方をしています。働いている多くの方は、朝家事をして、落ち着いたら少し仕事をして、お昼前から家事をしたらまた仕事をして、夕方からはお子さんのお迎えとか家事をやって、夜、自分の

時間ができたところで最後にメールチェックして終わりとか、そういった働き方をしている人がすごく多いです。ある意味どこで働いていてもいいですし、限界があって通えないとか時間がとれないような時でも働けるためのツールや、ルールも整備することで働き方を柔軟にしてきたところです。

組織の特徴として女性比率が高いですが、女性が活躍できる職場づくりの取り組みを教えてください。

就業規則など改めて整備したのが、2019年です。コアタイムなしのスーパーフレックス制度というものを作りました。基本的にフレックス制度には、コアタイムがありますが、突然その時間に入れないことがあるので、そこを撤廃しようということになりました。あと、リモートで働くうえで一番大事にしていることは、情報の記録を残すということです。会議の議事録は必ず作り、ドキュメントに残すことが必須です。その場にいなかった人にもわかるようにすることが徹底されていますし、それ以外にも必ず手順書や説明書を作ります。それは、時間がずれるということを前提に仕事をしていることがメイン



質問には一つ一つ丁寧に答えいただきました

にあるので、ルールとともに情報の扱いは、すごく手をかけてきたところがあります。女性が活躍できるという意味で言うと、取り組んでいて非常に良かったのが、ベビーシッターの利用で、会社としてはすごく画期的だったと思っています。それを初めてやる時に品川区さんから補助を出して頂き、急にオフィスでイベントがあってお子さんの預け先がない時には会議室を借りて、シッターさんを用意し、お子さんをシッティングしてもらいました。女性の活用、活躍を考えた時に色々と施策は考えられると思いますが、基本的にはお子さんを預け、外に出て働いている人向けの施策となっていると感じます。会社としては逆転の発想が必要で、柔軟に何が必要かということ聞きながら補填していったところも女性が働きやすくするための一つだったと思っています。

女性が職場のリーダーや中心的存在として働く際の苦勞について教えてください。

一番苦勞しているのが、周りにもロールモデル、いわゆる目標とする人物がいない人が多く、リーダーシップって何ものなのかわからない。言われたことはきっちりできるけど、人の上に立つなどしたくないし、私じゃなくていいですと遠慮してしまうこともあります。むしろ、やりたいやりたいという人よりも、コツコツと仕事している人の方が周りの人の気持ちもわかりますし、何を考えているかも知っているはずで、そういう人ほど本当はリーダーになって欲しいですし、会社の中で成長して欲しいと思っていますが、周りにそんな例がなかったし、働き方を知らないということがこの数年間問題になっていて、社内研修で

も多くの時間を使ってきました。基礎的な働き方や教育などの面でも、女性は周りを見る機会も少なかったということをものすごく実感していますので、これからは男性のリーダーシップとは違う新たなリーダー像が必要になっていると思います。これもなかなか正解がない状態で、ここを作りながら、広げていく、教えていく、研修していくことが非常に難しいと思いながらやっています。

企業の代表として今後の目標を教えてください。

誰もが働ける仕組みとルールを組み立てながら、色々な会社に受け入れてもらえるようなサービスを提供して、大きな会社にしていくことが目標です。一つのマイルストーンとして誰もが働けるようになるために、認知を上げて、いわゆる上場して信頼度を上げていくということが大事だと思っていますので、目下の目標は上場できる会社にするということです。

最後にマイセルフを読んでいる方に一言お願いします。

私たちは今、地方での採用や色々な自治体と連携してやっていますが、地方は東京と違いITリテラシーのアップからサポートしないといけないところがあります。時は変わってきていますが、場所や経歴によって、持っている情報にものすごく差があります。性別や住んでいるところに関係なく必要なものは必要なものとして、柔軟に新しく取り入れていくという事がすごく大事であって、一人で戦うのではなく組織的に信頼を得るということも必要です。自治体と上手く協調して一緒に作り上げていくことが、色々な格差を埋めていくコツなのだと思います。今、新しい取り組みとして障害者支援施設とタッグを組んでお仕事を始めています。誰にとっても働ける仕事というものを作りたいと考えていますので、是非何か一緒にできる場所があったら仲間を増やしていきたいと思っています。

世間からのバイアスもある中で起業をされた実体験を聞くことができた貴重な機会でした。それぞれの事情に対応できるコアタイム無しのスーパーフレックス制度を導入されていることに感銘を受けました。多様性が謳われつつも現状としては課題が多い社会です。すべての人にとって働きやすい環境になることを願いながら、私自身も更に勉強していきたいと思いました。
(蒲原夏花)

女性起業家として活躍される方の貴重なお話を聞くことができ、大変嬉しく思います。就職活動を意識していく中で、働き方について考える機会が増え、今回柔軟な働き方の一例を知ることができ、このような会社で働きたいと思いました。常に社員に寄り添っていく姿勢、社員のための制度づくりなどを会社を良くしていくには、まずは職場の環境づくりが最も大切だと気づくことができました。
(三好未緒)

性別や年齢、住んでいる地域などは関係なく、その人が何をしたいか、そのために何ができるのかというその人の本質を見ることが大切だと改めて気付きました。また全ての人々にとって、働きやすい環境はどんなものなのかを考えるきっかけとなりました。私自身、仕事だけに限らず、誰もが生活しやすいと感じる環境を作れるように心がけたいと感じました。
(山岸杏紀)

女性が活躍できる場として、子育てをしながらでも働くことができる環境があるのは素晴らしいことだと思います。男女や場所に関係なく、柔軟に新しいものを取り入れていく社会が必要だということに非常に共感しました。また、女性起業家が沢山いる中、常に働く人の立場になって活動されていて、女性の働く環境を考えることの大切さを学びました。
(倉石望愛)

女性で若くして起業された代表の方にインタビューをさせていただき、とても実りのある経験になりました。女性ならではのリーダー像の話は、自分のキャリアプランの参考になりそうだと考え、自分も積極的に人々をまとめる仕事に挑戦してみたいと思いました。また、女性が働きやすい職場づくりの工夫も、女性ならではのサポートだと思いました。
(板橋明)

取材をする中で、環境や時代の変化にも、柔軟に対応していくことの大切さを再確認しました。子育てや介護など、社員の方の環境を尊重し、誰もが働ける仕事を作りたいという想いは、多様性社会において欠かさないと考えています。本記事を通し、読者の方にとってのバイアスのない社会や、自分らしい働き方について、考えるきっかけになりましたら、嬉しく思います。
(石田瑠果)

自ら起業した女性のお話を聞くという貴重な体験をさせていただき、新しい考えや価値観に触れることができました。既存の会社の在り方にとらわれず、今の時代にあった働きやすい会社をつくるということの必要性を実感することができました。私自身もどのような人でも働きやすい世の中できるように働きかけていけたら良いと思いました。
(米根結菜)



清泉女子大学 編集委員のみなさん

男女共同参画推進講座報告

■ 令和4年9月12日(月) / 会場参加3名、オンライン参加8名

『多様な性と人権～誰もが居場所を感じられる社会のために～』

人権という土台から、多様な性を切り口に、誰もが居場所を感じられる社会を考えます。

|講師|中島 潤氏

[参加者の感想]

- 相談の場があっても一歩進めない人の心にどう寄り添えるか、深い課題だと感じました。
- 多様な性、指向があっても特別ではないことを、たくさんの方が知って欲しい。



■ 令和4年9月27日(火) / 会場参加7名、オンライン参加17名

『怒りの感情を何とかしたい男性のためのアンガーマネジメント講座』

自分の感情を抑え込まず、怒りの感情と上手に付き合っていくための心理コントロールを学びます。

|講師|江野本 由香氏 (国家資格キャリアコンサルタント)

[参加者の感想]

- 個人ワークショップやグループワークなど、アウトプットする時間が多かったので自分の「怒り」について可視化する機会となった。
- 6秒ルールで深呼吸することや意識を別方向に向けることなど、トレーニングだと考え実践していきたいと思った。



■ 令和4年10月19日(水)・26日(水) / [全2回開催延べ参加者数] 会場参加11名、オンライン参加12名

『問題劇『終わり良ければすべてよし』の謎を解く～結婚は人生のゴールか?男性の思い対女性の思い～』

問題劇を前半後半の2回に分け、身分違いの結婚を達成しようとする男女の攻防からシェイクスピアの女性観を探ります。

|講師|門野 泉氏 (東京財団政策研究所理事長・清泉女子大学名誉教授)

[参加者の感想]

- イギリス社会におけるジェンダー問題の切り口も盛り込まれており、シェイクスピア劇の奥深さに触れる貴重な機会だった。
- ヴィクトリア朝時代の女性の自立や背景などがわかり、とても興味深かった。



■ 令和5年2月1日(水)・8日(水)・22日(水) / [全3回開催延べ参加者数] 会場参加17名、オンライン参加11名

『男性のためのコミュニケーショントレーニング～職場でも!家庭でも!知っておきたいアサーティブ～』

自分も相手もお互いを大切にしながら考えや想いを伝える、自己尊重のコミュニケーションを学びます。

|講師|大井 健司氏 (アサーティブジャパン認定講師)

[参加者の感想]

- コミュニケーションは、自分が一方的に相手に尽くすことだと思っていたのですが、相手だけでなく自分も大切するということを教えてもらいました。
- アサーティブコミュニケーションが広く社会に認識されることを望みます。知っている人だけ知っていればよいわけではない、大切な知恵だと思いました。



開催報告

■ 男女共同参画推進フォーラム(令和4年11月12日(土)) / 会場: スクエア荏原 ひらつかホール / 会場参加86名、オンライン参加88名

『男女共同参画推進フォーラム2022』

|講師|瀬地山 角氏 (東京大学大学院教授)



区では、区民一人ひとりが互いに人権を尊重しつつ責任を分かちあい、能力と個性を発揮できる男女共同参画社会の実現に向けて、公募の区民委員をはじめ、昨年に続き、立正大学法学部の学生も参加し、企画・運営しました。

講師には東京大学大学院教授の瀬地山角さんをお招きし、「自分らしいワーク・ライフ・バランスを見つけよう!」をテーマに、様々なデータや事例をもとに笑いを混ぜながらの講演となりました。

[参加者の感想]

- とても共感できるお話でした。自分自身もこのテーマで問題意識をアウトプットできるようになりたいと思いました。
- ワーク・ライフ・バランスで苦勞していることは、自分だけの問題じゃないことに気づき安心したのと同時に、これから変えることができることに気づくことができました。

男女共同参画センターからのお知らせ

女性相談員による相談室 **無料**

人間関係、家族の問題、配偶者や恋人などからの暴力(DV)や心や生き方、セクシュアリティなどの悩みごと、また離婚、相続等、法律に関することなどお気軽にご相談ください。(性別問わずどなたでもご利用ください。)

※原則、品川区在住の方が対象です。

面接相談 事前予約が必要です。予約電話: **5479-4104** 予約受付時間: 平日午前9時～午後5時

相談時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
法律相談	午後1時～3時30分	5日(水)	10日(水)	7日(水)	5日(水)	2日(水)	6日(水)
	午後1時～3時30分	11日(火)	16日(火)	13日(火)	11日(火)	8日(火)	12日(火)
	午後5時30分～8時	17日(月)	29日(月)	19日(月)	24日(月)	21日(月)	25日(月)
カウンセリング相談	午後1時～4時	27日(木)	25日(木)	22日(木)	27日(木)	24日(木)	28日(木)
DV相談	午後1時～4時	7・21・28日(金)	19・26日(金)	2・16・23・30日(金)	7・21・28日(金)	4・25日(金)	1・15・22・29日(金)
	午後5時30分～8時30分	14日(金)	12日(金)	9日(金)	14日(金)	18日(金)	8日(金)

電話相談 予約不要。

カウンセラーによる電話相談 相談専用電話: 5479-4105

毎月第1・2・5木曜日 午前10時～午後3時30分

毎月第3木曜日 午前10時～午後7時30分

※ただし、木曜日が祝日の場合はお休みや日時変更となります。

法律相談【弁護士】……………法律に関すること

カウンセリング相談【カウンセラー】……………こころと生き方の悩みごとなど

DV相談【専門相談員】……………DVに関すること

※男性のDV相談は事前予約のうえ電話相談となります。

令和5年度男女共同参画推進講座のお知らせ

■会場：品川区男女共同参画センター（品川区東大井5-18-1 きゅりあん3階）

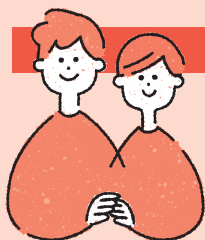
■問合せ先：男女共同参画センター [電話] 5479-4104 [FAX] 5479-4111

※内容や日程については変更となる場合がありますので、最新の情報は広報しながわや品川区HPでご確認ください。

開催予定	内容	
①7月 ②10月 ③2月	～LGBT等やその友人、 家族向け交流スペース～ 『みんなのひろば』	性自認・性的指向のあり方や多様性を認め合い、差別や偏見をなくせるよう、安心して思いや悩みを共有し、自分らしく過ごすことのできる交流の場です。 DVD上映、フリートーキングなど
7月	アンガーマネジメント講座	仕事のストレス、家族間のコミュニケーション不足、子育てへのストレスなど、「かっ」となってしまったときにできる感情のコントロール術を学びます。
8月	DV講座	配偶者などからの暴力(DV)に気づく。 これってふつうなの？知って、気づいて行動するために。
9月	デートDV講座 (親向け・若者層女性向け)	子どもたちを加害者にも被害者にもさせないために、お互いが尊重し合う関係となるために知っておきたいこと。
	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ講座 (女の子を育てる親向け若者層女性向け)	女の子の身体について、自分を守ることの大切さと、そのために知っておきたい正しい知識を学びます。
10月	ジェンダーバイアス講座	絵本とジェンダー。自分らしさって何だろう。 絵本から見えるジェンダーについて考えます。
11月	LGBTユニバーサルマナー講座	基礎的な用語やこれまでの歴史、多様な方たちへの心がけや日常生活での適切な対応方法などを総合的に学びます。
1月	アンコンシャス・バイアス講座	自分自身が気づいていない無意識な思い込みや偏見を知り、気づき、対処する方法を学びます。
2月	男性のための生き方講座 (男性向け)	「男性らしさ」とは何か。男性ならではの生きづらさに向き合い、自分らしくこなしていくための知識やコミュニケーションのコツを学びます。

開催予定	内容	
8月26日(土) 午後*	「マイセルフ品川プラン」 啓発・促進講演会	これだけは知っておきたい！ きほんのジェンダーについてみんなで学びます。
11月11日(土) 午後*	男女共同参画推進フォーラム2023	公募等の委員により、企画・運営を行います。 テーマ「女性のエンパワーメント～自分らしい生き方を見つけるために～」

※場所：きゅりあん小ホール



4月1日より東京都パートナーシップ宣誓制度の活用を開始します。

東京都では「東京都オリンピック憲章にうたわれる人権尊重の理念の実現を目指す条例」に基づき、多様な性への理解を深め、性的マイノリティの方々が暮らしやすい環境づくりにつなげる制度として、令和4年11月1日より「東京都パートナーシップ宣誓制度」の運用を開始しました。

品川区でもパートナーシップ関係にある方の生活上の不便を軽減し、性別によらず誰もが暮らしやすい環境につなげていくために、4月1日より「東京都パートナーシップ宣誓制度」の受理証明書を活用した行政サービスの提供を開始します。

詳細については、品川区ホームページでご確認ください。

